

路面復旧標準仕様書

◎ 復旧条件

- 通常の影響幅は80cmとするが、交通量の多い道路については、ダイヤカットとし、影響幅については、裏面を参考とすること。
- 有効幅員4m未満の道路については、全面復旧とする。4m以上の道路については影響幅をとって道路センターを超えない場合は半面復旧とし、超える場合は全面復旧とする。
隣接する復旧箇所との距離が5m未満になる場合は、隣接する復旧箇所まで縦断復旧しなければならない。
- 埋戻しは良質砂を使用し15cmごとに締固め埋戻しすること。

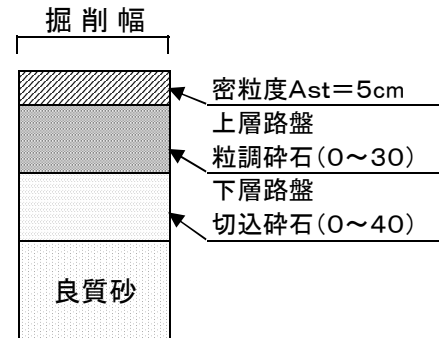
□ 歩道

- 路盤工 仕上げ厚は切込碎石10cm、1層転圧とする。
- 舗装工 復旧幅は全面復旧とし仕上げ厚は4cmとする。
舗装材料については現況に合わせるが縦断復旧の場合は浸透性とする。

※ 車道及び歩道の特殊舗装(平板、インターロッキング等)については、別途協議とする。

□ 仮復旧断面図

舗装厚 5 cm



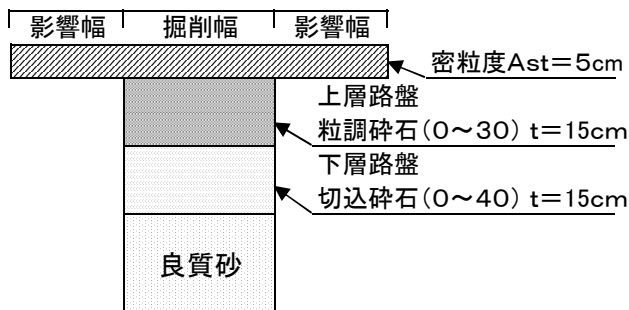
※ 舗装厚10cm・15cm・20cmの上層路盤については、それぞれ5cm・10cm・15cmの厚みを増して仮復旧し本復旧時に切削撤去して施工すること。

◎ 復旧断面図

※ 材料や施工方法等については、千葉県土木工事共通仕様書並びに、千葉県道路占用工事共通指示書に準拠すること。
※ 1級、2級路線のうち交通量の多いところについては、密粒度を(改質Ⅱ型密粒度20mm)粗粒度を(改質Ⅱ型粗粒度As20mm)とする。

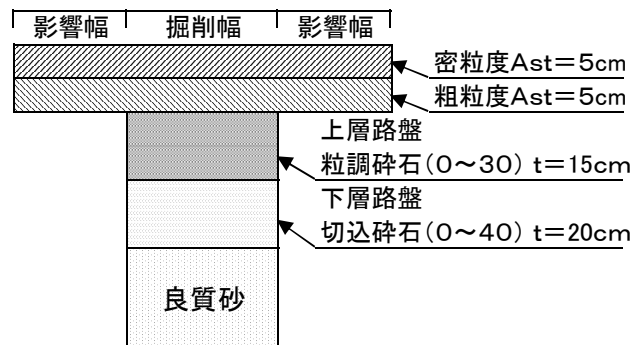
□ A 復旧

舗装厚 5 cm



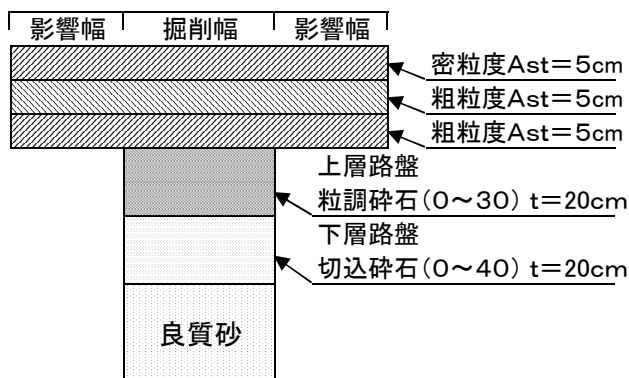
□ B 復旧

舗装厚 10 cm



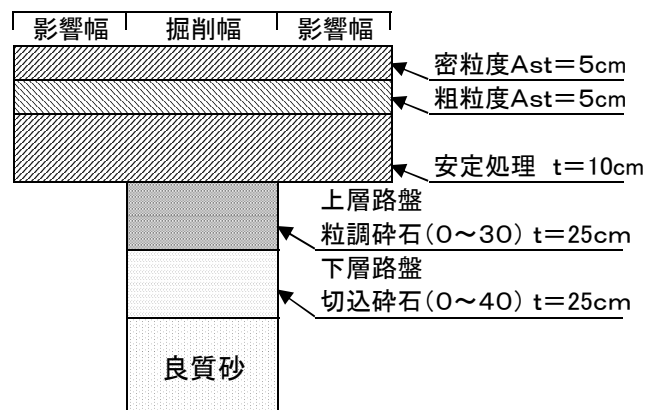
□ C 復旧

舗装厚 15 cm



□ D 復旧

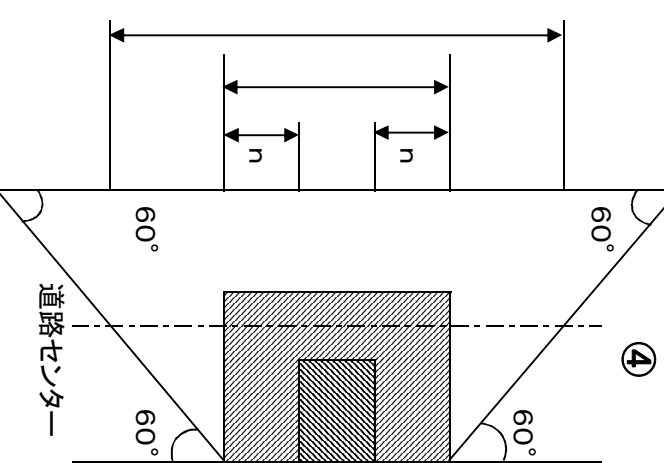
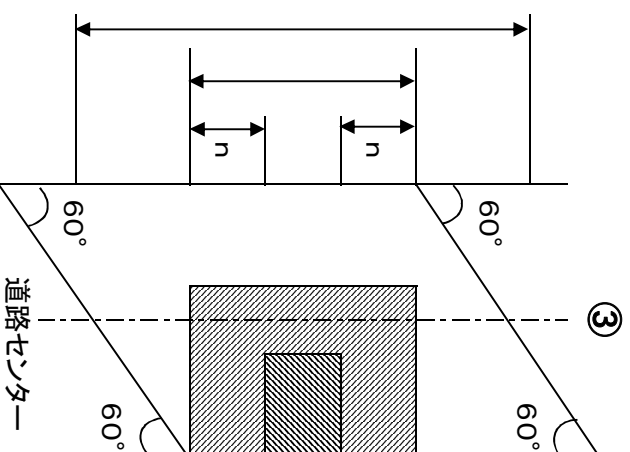
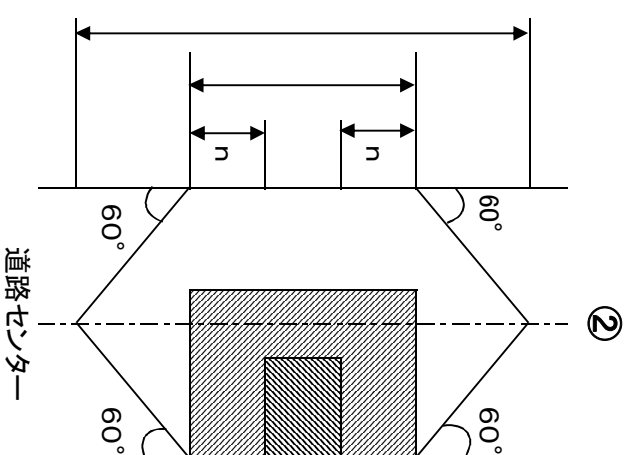
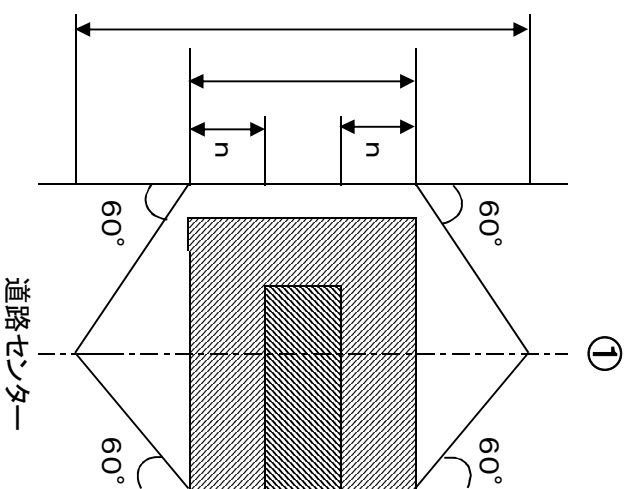
舗装厚 20 cm



舗装幅員4m以上

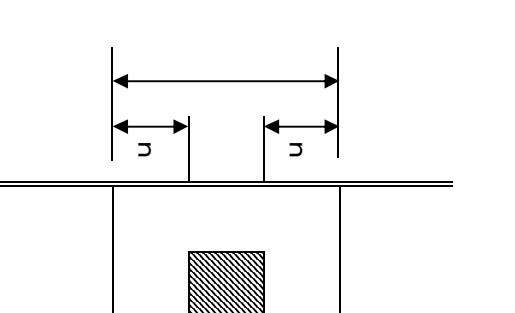
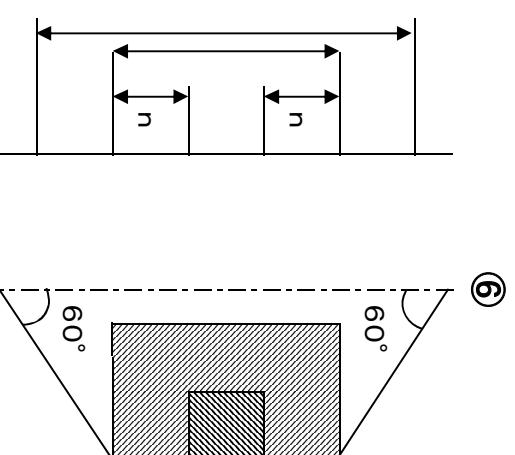
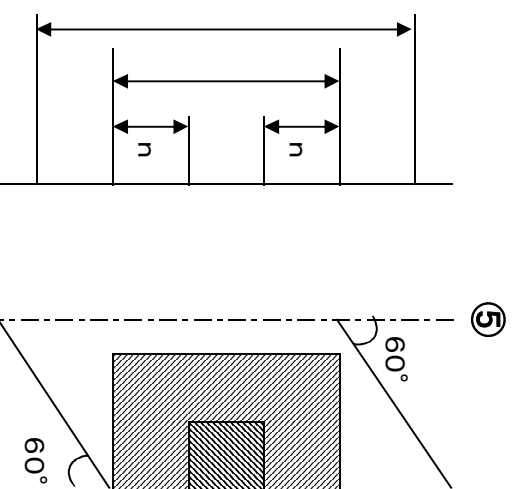
車道全面復旧

舗装幅員4m未満



車道半面復旧

歩道



掘削箇所

影響範囲

復旧範囲

通常、影響範囲(n)は80cmとする。
 車道全面復旧の場合は舗装幅員
 4m以上の場合は①、② 4m未満は③、④
 半面復旧の場合は⑤、⑥
 を基に現況に合った復旧方法を選択する。

市川市歩道舗装設計基準

道路部における歩行者系道路舗装は、一般部と車両乗り入れ部に分けて設計する。
(東京都・千葉県基準より)

一般部

区分Ⅰ	歩道や自転車道で専ら歩行者及び自転車の通行を想定した場合。
-----	-------------------------------

車両乗り入れ部

区分	車種	切り下げ幅(m)
区分A	軽自動車	1.8
区分B	乗用車	3.6
区分C	2t～4tトラック	6
区分D	大型トラック	7.2
区分E	道路管理者協議	9

(東京都・千葉県基準より)

※東京都・千葉県は一般部を区分Ⅰ・Ⅱに分けてあるが、区分Ⅱは特殊であるため省略する。
※通常の歩道の駐車場出入り口部は、車両乗り入れ部区分により設計を行う。
※路盤以下は状況によって不陸整正RM-40を30mm程度施工とする。

市川市歩道舗装設計基準

アスファルト舗装編

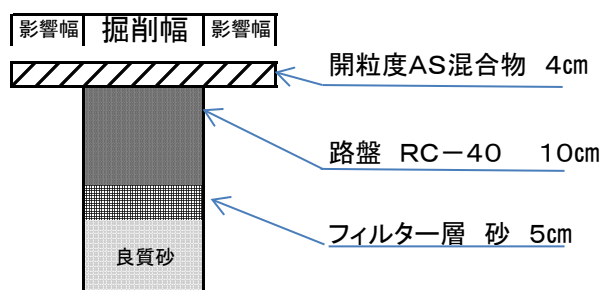
◎ 復旧条件

通常の影響幅は80cmとする。

◎ 復旧断面図

○ 一般部

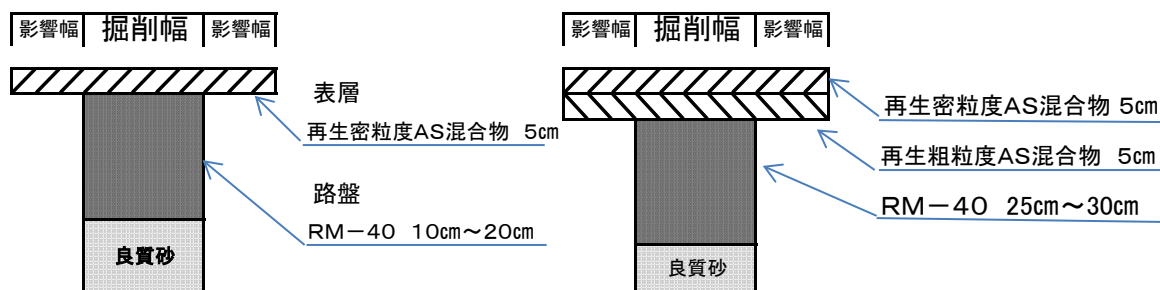
□ 区分Ⅰ



○ 車道乗り入れ部

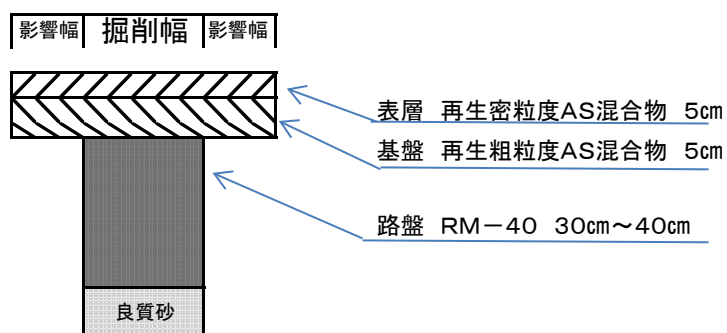
□ 区分A, B型(4m以下)

□ 区分C型(6m以下)



※ 乗用車のみの使用に供する場合は路盤は10cm、小型トラックが頻繁に出入りする場合は路盤は20cm
一般家庭車庫から出入りは路盤10cm、貸駐車場等は20cm

□ 区分D型(8m以下)



市川市歩道舗装設計基準

平版ブロック舗装編

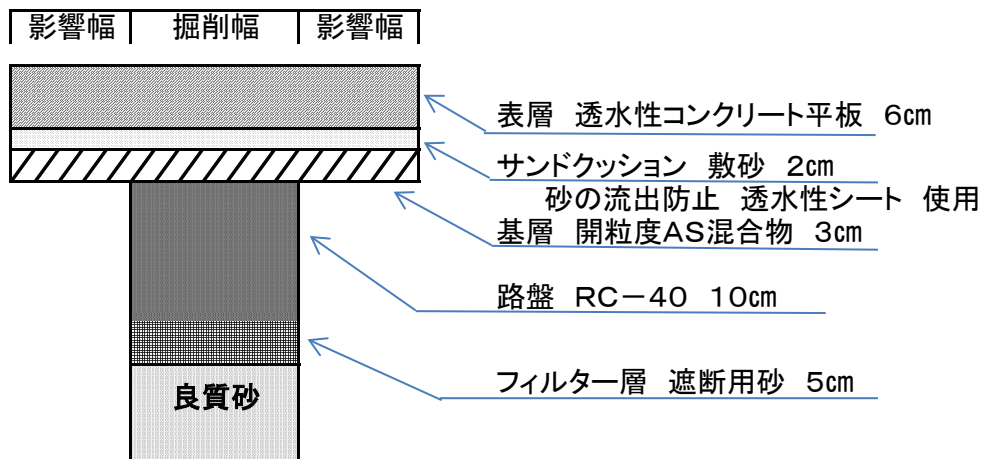
◎ 復旧条件

影響幅は現場の状況にあわせること。

◎ 復旧断面図

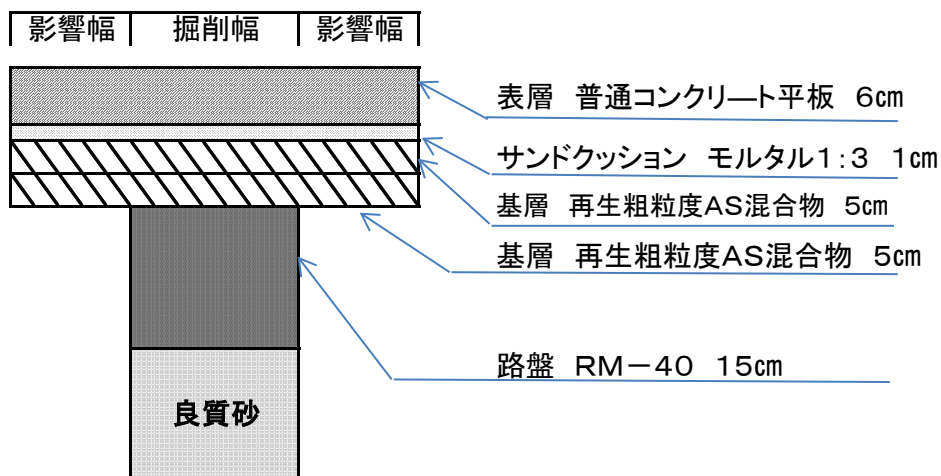
○ 一般部

□ 区分Ⅰ

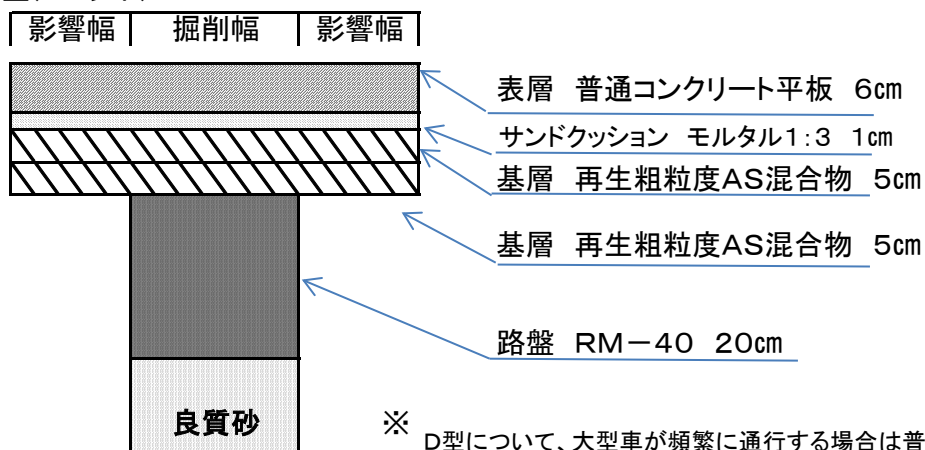


○ 車道乗り入れ部

□ 区分A, B, C型



□ 区分D型(8m以下)



※ D型について、大型車が頻繁に通行する場合は普通コンクリート平板厚8cmとする。

市川市歩道舗装設計基準

インターロッキング舗装編

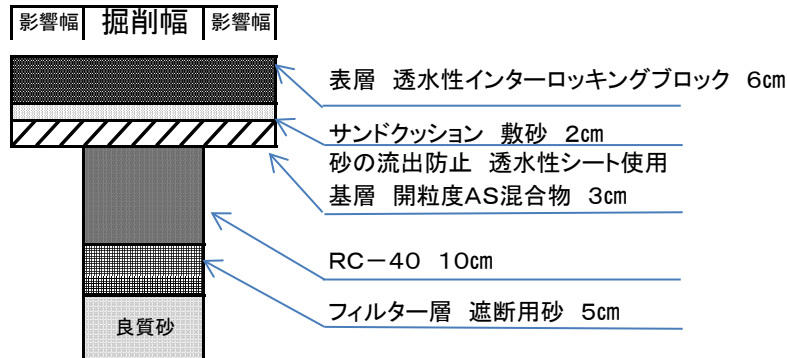
◎ 復旧条件

影響幅は現場の状況にあわせること。

◎ 復旧断面図

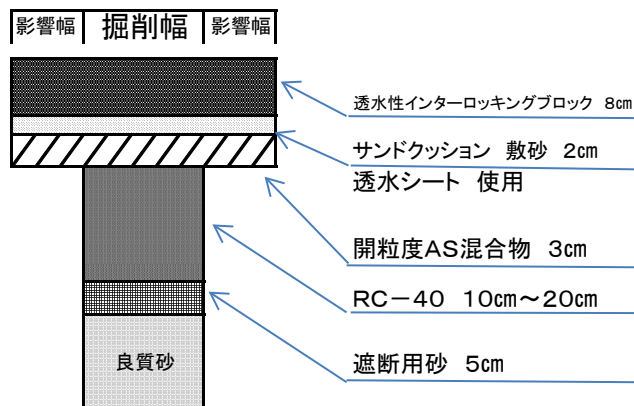
○ 一般部

□ 区分Ⅰ

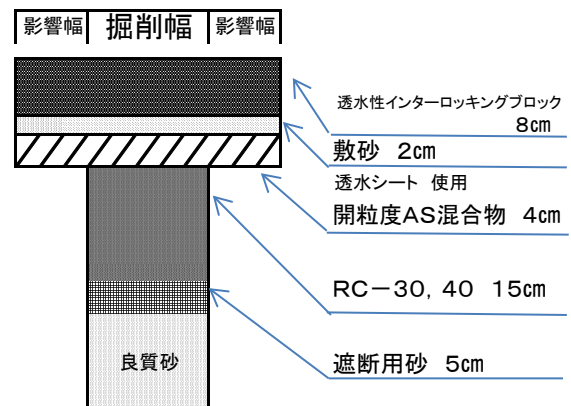


○ 車道乗り入れ部

□ 区分A, B型(4m以下)

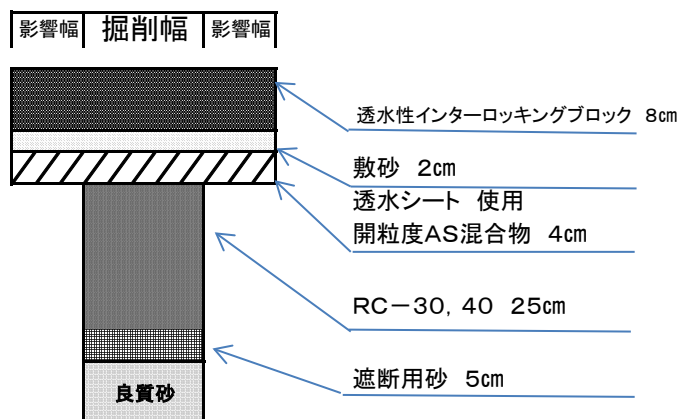


□ 区分C型(6m以下)



※ 乗用車のみの使用に供する場合は路盤10cm、小型トラックが頻繁に出入りする場合は路盤は20cm
一般家庭車庫から出入りは路盤10cm、貸駐車場等は20cm

□ 区分D型(8m以下)



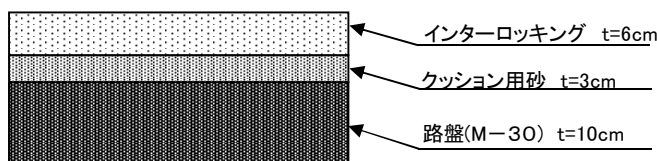
路面復旧標準仕様書 (妙典区画整理地)

◎ 復旧条件

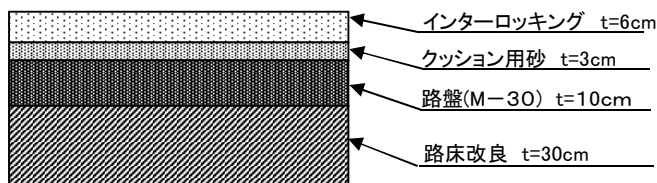
- 通常の影響幅は80cmとするが、交通量の多い道路についてはダイアカットとし、影響幅については裏面を参考とすること。
- 有効幅員4m未満の道路については全面復旧とする。4m以上の道路については影響幅をとって、道路センターを超えない場合は半面復旧とし、超える場合は全面復旧とする。
- 埋戻しは良質砂を使用し30cmごとに締固め埋戻しすること。

《歩道復旧断面図》

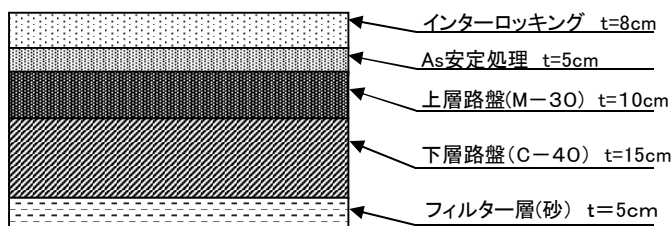
□ インターロッキングブロック (L・A 復旧)



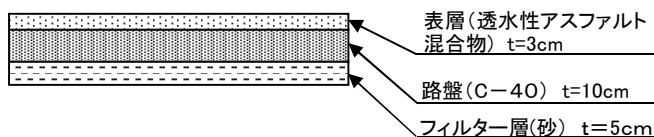
□ インターロッキングブロック (C 復旧)



□ 車両出入り箇所



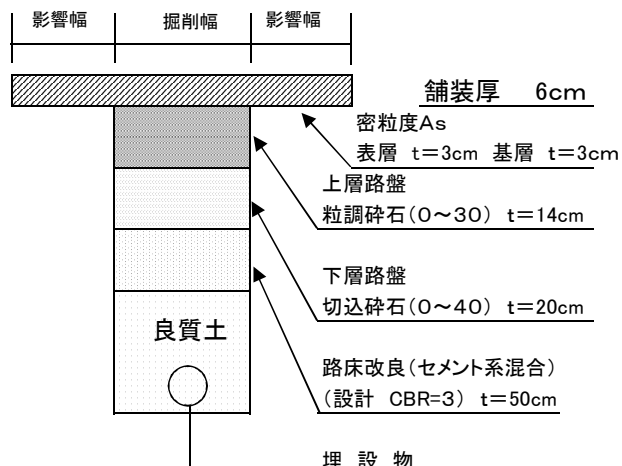
□ 透水性舗装



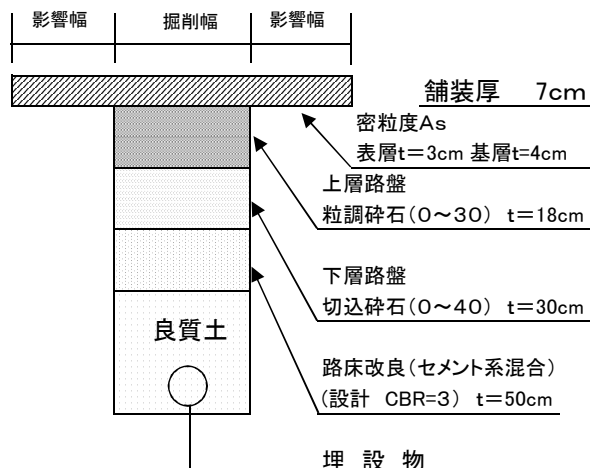
※ カラー舗装の歩道あり

《車道復旧断面図》

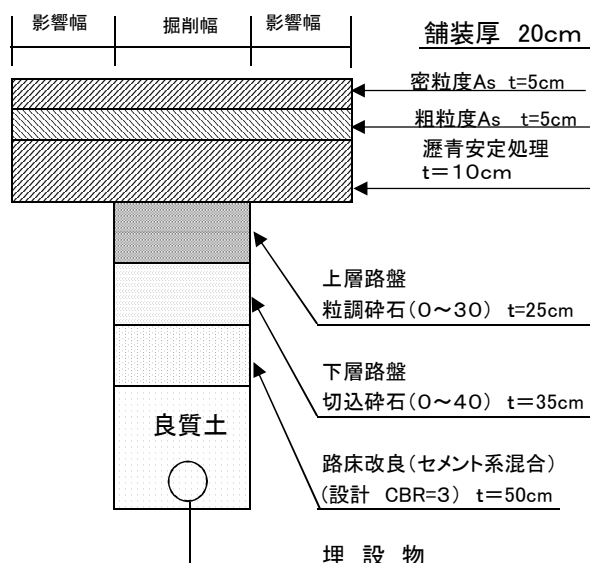
□ L 復旧



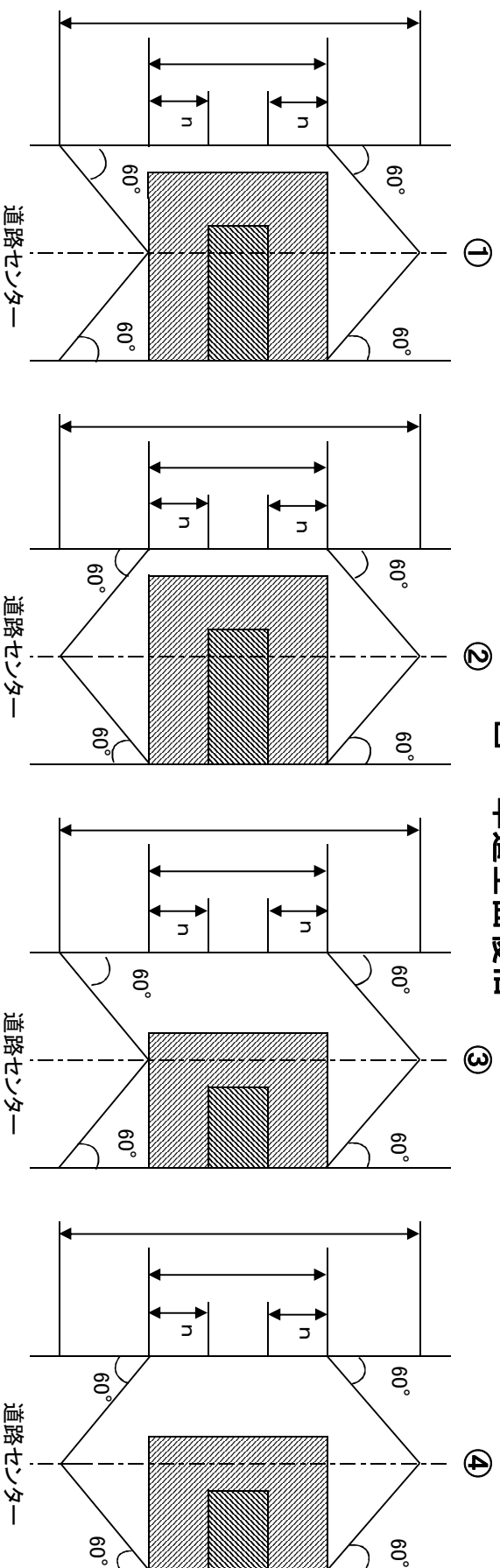
□ A 復旧



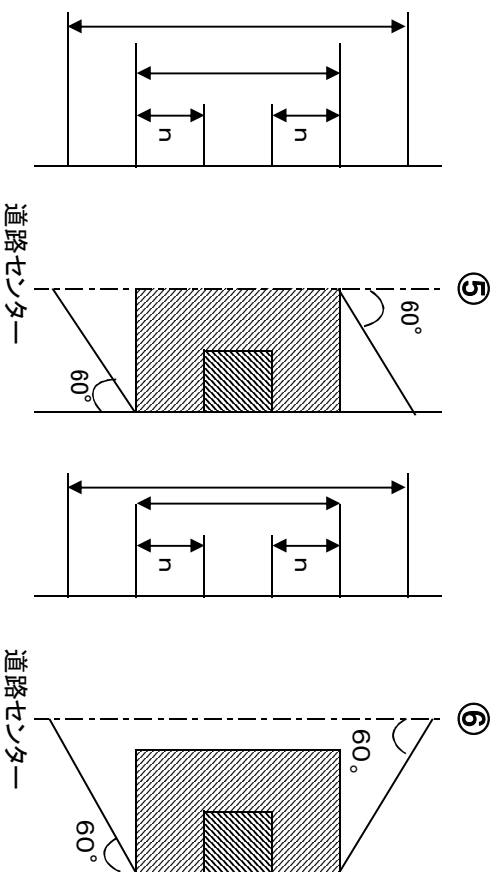
□ C 復旧 (ダイアカット)



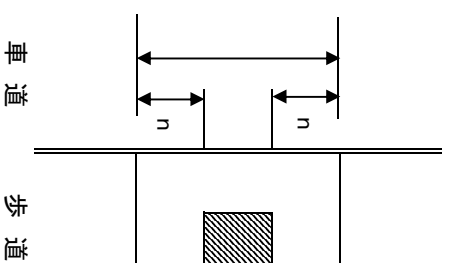
□ 車道全面復旧



□ 車道半面復旧



□ 歩道



掘削箇所

影響範囲

復旧範囲

通常、影響範囲(n)は80cmとする。
車道全面復旧の場合は①～④のパターンで半面復旧の場合は⑤～⑥のパターンを基に現況に合った復旧方法を選択する。